

自転車国内販売動向調査月報ダイジェスト(平成23年12月)

当協会では、毎月全国100の標準自転車小売店を対象に、自転車の販売に関するアンケート調査を実施し、「自転車販売動向調査月報」としてとりまとめ発表しております。

平成23年12月の調査がまとまりましたのでその概況をお知らせします。なお詳しくは月報をご参照ください。

◎調査店1店当たりの販売台数

本月の1店当たりの新車販売は14.0台で、前年同月に比べ0.1台増の100.7%である。前年同月比で上回った車種は、シティ車103.4%、スポーツ車128.6%、電動アシスト車107.7%で、下回ったのがホーム車98.3%、折りたたみ車75.0%、子供車88.9%、幼児車66.7%、マウンテンバイク80.0%である。また前月比では折りたたみ車以外が上回っている。

中古車は前年同月比、前月比とも下回っている。

◎自店や他店の動向など調査店から寄せられたコメント

各店舗から寄せられるコメントは、「新車販売、修理ともによかった。特に電動アシスト車が売れ売上額が上がった」(東京)、「クリスマスプレゼント用に高額商品が売れた」(愛知)など好調なものもあるが、「12月の降雪が遅れたのでこのまま降らないことを願ったのに、おまけを連れての雪のために動きがとれない」(秋田)、「12月は過去最低の販売、修理で食いつないでいる状態。大雪にならないことを願うばかり」(島根)など天候による不振を示すものが目立つ。

また、「平成23年を振り返ると3月の震災がすべて。自転車が生活に大きな位置を占めることを、利用者側と従事者側の双方に実感させる出来事だった」(宮城)、「自転車ブームはありがたいが、ブームを過ぎると資金のある量販店が増え、他業種からも参入し個人店には厳しくなる場合もある。個人店ならではの考え、サービスを図っていかなければブームの波にさらわれてしまう、考えて実行していかないと」(滋賀)、「来年は今のままではやっていけない、だめを打破するための思考中。まずは初心に戻り“自転車分解掃除またはサビ取りいたします”から始めてみる、行動あるのみ!!」(鹿児島)など一年を振り返ったもの、新年に向けた抱負などのコメントがみられた。

調査店1店当たりの販売台数(総合)

[全国9地域 店舗：100]

(平成23年12月)

[単位：台 構成比：%]

車種別	本月		前月		前月比	前年同月		前年同月比
	台数	構成比	台数	構成比		台数	構成比	
シティ車	3.0	19.6	2.4	17.6	125.0	2.9	18.8	103.4
ホーム車	5.9	38.6	5.4	39.7	109.3	6.0	39.0	98.3
折りたたみ車	0.3	2.0	0.4	2.9	75.0	0.4	2.6	75.0
子供車	0.8	5.2	0.6	4.4	133.3	0.9	5.8	88.9
幼児車	0.4	2.6	0.3	2.2	133.3	0.6	3.9	66.7
マウンテンバイク	0.4	2.6	0.3	2.2	133.3	0.5	3.2	80.0
スポーツ車	1.8	11.8	1.5	11.0	120.0	1.4	9.1	128.6
電動アシスト車	1.4	9.2	1.0	7.4	140.0	1.3	8.4	107.7
合計	14.0	91.5	11.8	86.8	118.6	13.9	90.3	100.7
中古車	1.3	8.5	1.8	13.2	72.2	1.5	9.7	86.7
総合計	15.3	100.0	13.6	100.0	112.5	15.4	100.0	99.4
モーターバイク	0.4	2.6	0.4	2.9	100.0	0.4	2.6	100.0

注：モーターバイクにおける構成比欄の数字は本月販売台数総合計に対する比率である。

次回1月の販売動向調査結果は3月初旬にHP掲載の予定。

財団法人 自転車産業振興協会